

県民のための地域情報サイト 女性目線が軸のtory(トリー)

IT事業を展開する㈱Webもり(鳥取市新七六一四、大森誠代表取締役)が、鳥取県民のための地域情報サイト「tory」を昨年5月にオープン。

1年半の稼働期間を経てサイトの地盤を固めており、ホームページ上には県内の飲食店情報やイベント情報などが、ジャンル問わずズラリと並んでいる。

サイトのコンセプトについて大森社長は「女性目線の情報掲載を軸にスタートさせました。地域情報サイトは他社様も展開されていますが、女性目線というのは意外となかった」と話す。

各情報については県在住のライターが店舗に赴き、「鳥取に暮らす」目線で取材を行う。女性ライターの割合が高い。子育て中である荒金夏生さんは「子どもが遊べるスペースを用意してあったり、専用メニューであったり、企業様や店舗様がPRしていない、隠れた魅力っていうのがたくさんあるんです」と育児中の目線を活かして店舗やイベントの魅力の掘り下げを行っている。



左からライターの荒金さんと大森代表

さらに各ページにはタブを設け、カフェ、ランチなどの他、「おひとり様でゆったりと」や「子連れで行けるお店」など、閲覧者が情報を探しやすい工夫がなされている。

大森社長は「女性目線・ファミリー目線でなければ気づけない部分がたくさんあるんです。お客さまの視点でお店や会社の魅力を掘り上げていくので、事業主様も気づかなかった長所を発見できる。アクセス数などを分析すると、明確に数字に表れています」としている。

toryは、丁寧なヒアリングと同社で培ったウェブライティングによって地元企業の紹介に新たな付加価値を作っている。

県内の専門業者の紹介事例では、「水回りの高額請求のトラブル対策」のテーマで実際に起こった鳥取県内の被害と、鳥取の修理の相場を地元企業に答えてもらい、生活に役立つコンテンツを掲載している。協力会社の信頼度を高め、問い合わせ先や求人情報を同ページ内に掲載することで、相互利益が成立するような仕組みをとっている。

掲載方法は、ホームページ上の紹介記事から各種SNS投稿、リールなどの動画、バナー掲載、広告運用と多岐にわたる。掲載期間や予算に応じて組み合わせることも選ぶことができる。

繰り返し掲載する同サービスは利用企業、事業者からの評価が高く、すでに100社以上の掲載実績があるという。

今後について大森社長は「男性の閲覧も増えていて、家族で

の外出やデートの参考になる情報を発信しています。また、企業から人材確保の要望が増えている、求人支援の比率も上げていきたい。女性目線で働きやすい職場とはなんなのか、ですとか、トリーならではの長所を活かしていきたい。多様な企業、機関と連携できる情報発信ツールとして昇華していきたい」と先を見据えている。

現在はサイト閲覧回数40万回を突破。これに際し、掲載費が最大半額になるキャンペーンを年内まで実施中とのこと。問合せは0857-30-4941、または「トリー鳥取」で検索。
<https://masakarne/tory>

銀合陰山 カーボン・クレジット市場 中国地方唯一の参加

山陰合同銀行(山崎徹頭取)では10月11日、東京証券取引所が同日開設した「カーボン・クレジット市場」に参加。全18社の参加社のうち、中国地方の地域金融機関として唯一の参加となった。

日本政府では2050年カーボンニュートラル目標実現の為に今年2月に「GX実現に向けた基本方針」において「排出量取引制度」の導入を示し、2023年度からの試行取引、2026年度からの本格稼働を予定している。

今回の「カーボン・クレジット市場」は、その一環として開設された「カーボンニュートラルに向けた排出量の取引プラットフォームフォーム」で、再生可能エネルギーの活用や森林整備による二酸化炭素排出量削減分を国が認証する「J-クレジット」が売買されている。